

大 学 院 特 別 講 義

～ 医 歯 学 研 究 先 端 持 論 ～

～ 生 命 理 工 学 先 端 研 究 特 論 ～

～ 医 歯 理 工 学 先 端 研 究 特 論 ～

講師： 審良 静男 先生

(大阪大学WPI免疫フロンティア研究センター
自然免疫学研究室 教授)

講演タイトル：

「自然免疫による 炎症応答」

日時： 2013年 2月15日(金)

17:00-19:00

場所： 共用講義室2 (M&Dタワー2階)



～ 講演抄録 ～

自然免疫は、病原体センサーを用いて病原体の侵入を早期に認識し、初期攻撃を行うとともに、炎症や獲得免疫の誘導に関与することがあきらかとなっている。自然免疫にかかわる各種受容体として、現在、Toll-like receptors (TLRs), RIG-I-like receptors (RLRs), NOD-like receptors (NLRs), C-type lectin receptors (CLRs) が、同定されている。本講演では、病原体センサーを概説するとともに、最新の研究成果、NLRP3インフラマゾームの活性機構、さらにはM2マクロファージの分化について報告したい。

連絡先：免疫アレルギー学分野 烏山 一 (内線5162)